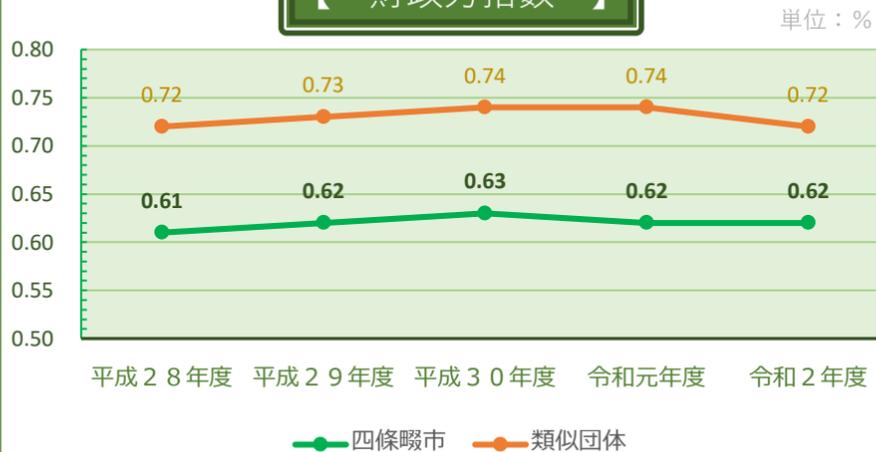


— 財政指標について —

【 財政力指数 】



財政力指数とは、市の財政力を示す指標で、基準財政収入額÷基準財政需要額の過去3年間の平均値のことです。財政力指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。四條畷市は法人基盤が弱いことなどから平均値より低くなっています。

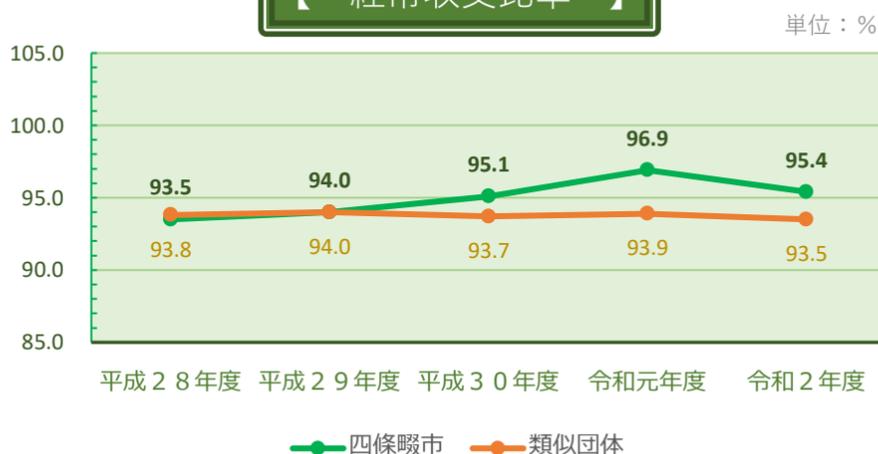
改善できるように取組んでいるよ



経常収支比率とは、地方税や普通交付税のように使い道が特定されていない経常的に収入するお金のうち、人件費や扶助費のように経常的に支出するお金が占める割合のことです。この比率が高いほど市が自由に使用できるお金が少ないことを示しています。



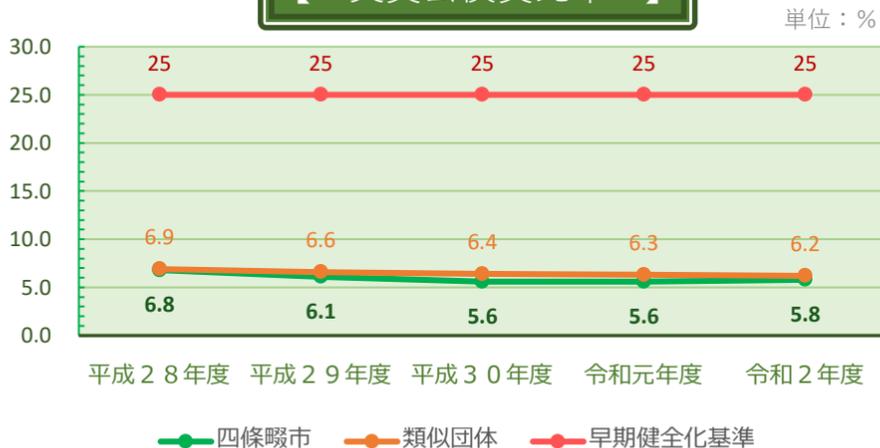
【 経常収支比率 】



実質公債費比率とは、一般会計等が負担する元利償還金等の、標準財政規模に対する比率の過去3年間の平均値です。計画的に市債の発行をしているので、平均値より低くなっていて、高くならないように注意しています。



【 実質公債費比率 】



将来負担比率とは、市が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率のことです。将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえます。

四條畷市は、将来負担見込み額が、基金などの充当可能財源より少ないことから比率が算定されていません。



【 将来負担比率 】



— 基金・市債について —

【 基金残高の推移 】



基金の金額を、住民の人数で割って、一人あたりの残高を計算してみました。

類似団体と比べると、多くなっています。
計画的に貯めて、事業をするときや災害時などにも対応できるようにしています。

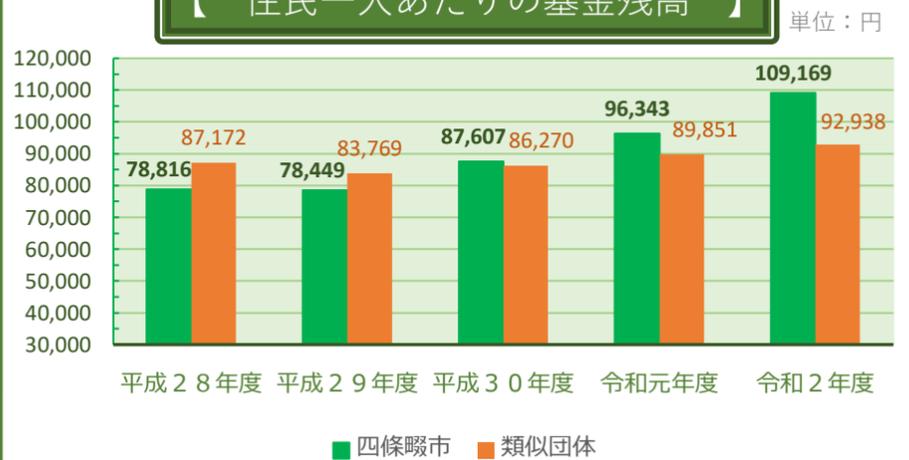


基金とは、市の貯金のことです。
使い方が決まっていない「財政調整基金」や、目的を決めて貯めている「特定目的基金」などがあります。

四條畷市は、公共施設の老朽化に備えて「公共施設整備基金(特定目的基金)」を貯めたりしています。
基金残高を他の市と比べてみると…?



【 住民一人あたりの基金残高 】



市債とは、学校や道路など、沢山お金がかかる建設事業をするときに、国や銀行などから借りたお金のことです。
未来にその施設などを利用する人も「借入金の償還」という形で税負担して、世代間の公平を図っています。

住民一人あたり、どれくらい残高があるかみてみましょう。



【 市債残高の推移 】



市債の金額を、住民の人数で割って、一人あたりの残高を計算してみました。

類似団体よりも少なくなっています。
未来、老朽化した公共施設の更新など、沢山お金が必要になることに備えて、繰り上げてお金を返したり、市債の発行を計画的に行って、将来負担を減らしているからです。



【 住民一人あたりの市債残高 】

